



大河小だより

小川町立大河小学校
令和7年11月25日 第22号
文責 校長 宮澤 忍

～子供の豊かな成長を支え、地域とともに歩み続ける学校～

〒355-0327 比企郡小川町腰越209 Tel. 0493-72-0068

【学校教育目標】 ○ 自ら学ぶ子（知） ○ やさしい子（徳） ○ たくましい子（体）

【年間生活目標】 「あいさつを広げよう」 「健康な生活を心がけよう」

【11月の生活目標】 「進んで体をきたえよう」

修学旅行に行ってきました

11月12日（水）、13日（木）にかけて6年生が修学旅行に行きました。2日間は、天候にも恵まれ、紅葉の美しい鎌倉・箱根を目に焼き付けてきました。子供たちは、6年間の集大成として、「感謝の気持ちを忘れずに 最高の思い出をつくれ！ いざ、鎌倉・箱根」のスローガンのもと、大河小学校の最高学年としてふさわしい修学旅行にしよう、という意識が伝わってきました。バスガイドさんの話を聴く姿、歴史で学んだ文化遺産等を観る姿、友達と楽しく活動する姿、公共の場所でマナーを守る姿、安全に気をつけた行動など、6年生の子供たちの姿に、6年間の成長をしっかり見ることができた最高の修学旅行でした。



鶴岡八幡宮を見学



高徳院でのグループ活動



長谷寺でのグループ活動



江ノ島電鉄に乗って新江ノ島水族館へ移動



水をかぶった新江ノ島水族館のイルカショー



宿泊先で夕食準備



箱根の関所を見学



芦ノ湖の海賊船に乗船



箱根彫刻の森「ネットの森」での活動

授業力向上のために先生も勉強しています（校内授業研究）

校内で先生の授業を見合う勉強会を行いました。授業を提供していただいたのは、10月30日(木)が2年生の国語で物語文「お手紙」の授業を行いました。また、11月6日(木)は、4年生の国語で物語文「ごんぎつね」の授業を行いました。

本校では、「ユニバーサルデザインの視点による授業づくり」を研究しております。これは、通常の学級での授業において、特別支援教育の視点を生かした指導・支援の工夫を図っております。このことにより、特別な教育的支援が必要な子供だけではなく、全ての子供にとって「分かる・できる」授業を構築することを目指しております。

まだまだ研究の途中であります。教師がこのように授業を見合い勉強することを通して、子供たちが学習へ参加し、活発に活動することで、学級全員が参加する授業づくりを実践していきます。



【上3枚の写真は2年生、下3枚の写真は4年生です】



カルビー出前授業を行いました

10月31日(金)に4年生が食育の一環として「カルビー出前授業」を行いました。講師の方は、子供たちに興味・関心を喚起する授業をしていただきました。

この授業では、おやつの量、おやつの時間、パッケージの表示の見方について学びました。「1日のおやつの目安量は〇kcal」「ポテトチップスにするなら〇gまで」「ご飯の〇時間前までに食べる」など楽しんで考えていました。また、お菓子を選ぶとき、どこを確かめたらいいのかも教わりました。最後に、「おやつの量を決めよう！おやつの時間を守ろう！表示をみよう！」といったまとめをすることことができました。

【写真は、講師の方と活動の様子です】



予告なしの避難訓練を行いました

10月31日(金)に地震を想定した避難訓練を実施しました。今回の避難訓練は、実施時間や災害の種類を子供たちに知らせずに実施しました。訓練では、掃除中に地震発生の放送があり、その5分後に余震発生の放送がかかりました。子供たちはすぐに体を低くして頭を守る体制をとりました。予告なしで実施した避難訓練でしたが、子供たちの避難の様子は大変立派でした。



-2- 【右の写真は、避難体制をとる子供たち】